

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2(BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb,2010bei&bpi.v2.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東大阪市西消防署	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市御厨栄町3丁目281	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	50人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2014年8月11日
敷地面積	1,985㎡	作成者	JFE設計 岡本真也
建築面積	1,149㎡	確認日	2014年8月25日
延床面積	2,633㎡	確認者	JFE設計 古川 裕治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 86%

③上記+②以外の 86%

④上記+ 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 建て替えにあたり、約50年間の地に存在した既設消防署のデザイン要素を継承し、地域の人々に親しまれる顔づくりを目指すとともに、耐震安全性(耐震性能I類、重要度係数1.5倍)及び、ライフサイクル時の自立機能を併せ持ち、迅速な出動が可能な、地域の防災拠点として頼りになる施設を目指した。		その他 周辺の住戸を考慮した外壁開口部のレイアウト。(エントランスホールにはマンションバルコニーが対面するため開口を設けるのを避け、トップライトによる採光を選んだ)
Q1 室内環境 「パネル太陽光発電のトップライト」や「光庭」を設け、自然換気・自然採光にこだわった計画を心がけた。良好な執務環境を実現するため、事務所は南側に庇及びライティング付きの大型の窓を設け、日射制御と昼光利用を両立させた明るい	Q2 サービス性能 天井高のゆとりを持たせ、維持管理(防汚性、防錆、点検口)に対する配慮を行った。 耐震安全性(耐震性能I類、重要度係数1.5倍)を確保し、設備更新周期の長期化への配慮を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 既設消防署のデザイン要素である望楼と消防署を中心とした左右対称性及び高さを抑えたたたずまいを新しい消防署にも採り入れ、敷地内には良好な緑地を確保した。
LR1 エネルギー 屋上には「パネル太陽光発電のトップライト」や「太陽光パネル」を設置し、再生可能エネルギーを活用すると共に、低勾配の太陽光パネルは高反射仕様で屋上防水との組み合わせることによって屋根からの日射熱の取得を大幅に軽減する。外壁面に設ける窓は断熱性能の優れた複層ガラスを採用する。	LR2 資源・マテリアル 非構造材料にリサイクル材及び有害物質を含まない材料を使用した。 (環境配慮型の電線、ケーブルの採用等)	LR3 敷地外環境 日照・電波障害など周辺環境へ配慮すると共に、消防訓練による騒音及び視線制御を兼ねた防音壁を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	東大阪市西消防署		
	建設地	大阪府東大阪市御厨栄町3丁目281番2		
	用途/区分	事務所		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 4.0	4
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
	太陽光発電パネル(屋上設置)	発電だけでなく、低勾配タイプの採用により屋根面からの日射熱取得も軽減する。		
	シーソー太陽光発電トッパイト	断熱性能に優れ、室内を明るく照らしつつ発電も行う。		
	高反射仕様の屋上防水	高反射仕様の屋上防水を採用し、屋上の表面温度を下げる。		
特に配慮した事項	上記技術の採用に加え、外壁面に設ける窓は断熱性能の優れた複層ガラスを採用し、建物全体で日射熱取得の軽減を目指した。			